

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校

冬休み明けの授業始め式に、日本を代表する電機メーカーの創業者の「日々是新」という短文を紹介しました。生徒たちには、目標と計画をしっかりと立て、日々新たな気持ちで頑張ってもらいたいと思います。

高校生溶接技術競技会

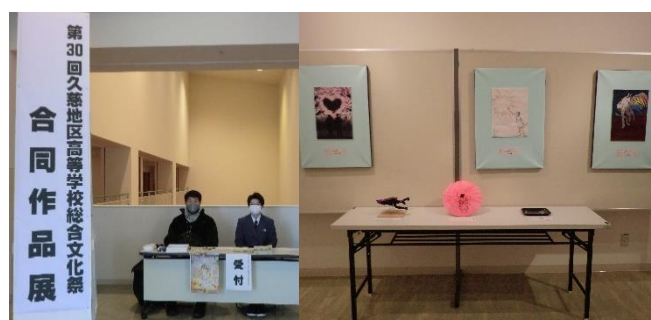
岩手県高校生溶接技術競技会は、1月14日、ポリテクセンター岩手を会場に開催されました。アーク溶接の技能を、県内工業系高校16名の選手で競いました。本校からは、電子機械科から2名の選手が出場しています。選手たちは、将来、社会インフラを支える橋梁・水門・ビルなど鉄骨構造物の製造や、より高いレベルとなる岩手県や全国の溶接技術競技会への出場を目指して、溶接の技能を磨き続けています。

電子機械科2年城内龍醒君は、「とても緊張しましたが、競技会を通じて溶接の楽しさを知ることができました。」と2年連続出場の大会を振り返りました。



久慈地区高総文祭

久慈地区高等学校総合文化祭が、1月18日から2日間の日程で開催されました。久慈市文化会館の展示室には、美術部から出展した美術6作品も展示されました。久慈地区高総文祭テーマの部では、電子機械科1年二又幸音君が応募した「吹かせよう こはくの国から夢色の風を」が、最優秀賞に輝きました。



講座：地域未来学

第6回(最終回)講座は、株式会社ツガワ二戸工場の櫻庭俊幸執行役員工場長に「持続可能な会社を目指して」と題し、講義をいただきました。



ツガワは、駅のホームドアや宅配ボックス等を作っている会社です。講義では、板金技能士2級を取得して活躍している女性従業員などの紹介がありました。「若いときから、何事にも挑戦してほしい。」と、激励の言葉もいただきました。

橋梁点検健全性診断

本校の建設環境科は、令和2年度より、岩手県県土整備部と協働して、橋梁点検を実施しています。現地での点検結果を踏まえて、県土整備部の指導を受けながら、点検橋梁の健全性を診断しました。

